

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21



- 新型コロナ撲滅への町の姿勢について（緊急質問）… 2
- コロナ対策ワクチン関連予算可決！ …… 3
- 町の観光資源、どう活かす（あおぞら会議）… 4

表紙：全集中で鬼退治！（2月2日 若葉保育園）

1月定例会

令和3年2月26日

No.161

熊本・みふね町議会

Q 新型コロナ撲滅への町の姿勢について

A 感染防止対策の徹底と体制づくりに努める

田上 英司 議員



緊急質問

問 本年1月14日熊本県独自の新型コロナに対する「緊急事態宣言」が発出されており、我が国において戦後、我々が経験するかつてない人命に関わる最悪の事態を迎え、住民の不安が増大している。町行政も必死に努力されていることに敬意を表し、撲滅への町の姿勢について質問する。

町長 県が制定する対策にのっとり住民や関係機関へ感染防止対策の徹底を定め周知啓発を行っていく。また、感染症拡大防止に向けた体制の強化に取り組んでいく。

問 町内の感染状況は。

健康づくり支援課長 1月25日現在、51名の発生が確認され、1名が亡くなっている。クラスターも発生し、今後、油断なく感染防止を徹底継続する。

問 町の医療圏は、基幹病院はあるのか。

健康づくり支援課長 町の医療圏は「熊本・上益城地域保健医療圏」として位置づけされており、町には基幹病院はない。

検査機関は1か所ある。

問 1か所あるということは本町の病院を、いわゆる二次的な医療圏として設計図が描けるのか。

健康づくり支援課長 1か所は発熱患者等の診療や検査を行う医療機関だ。

問 特措法改正での過料適用は自治体でやらねばならないことから、非常に困難な作業が出てくる。この

行政罰の執行に対する検討はされているのか。

健康づくり支援課長 国・県の動向を踏まえて町の対策を講じていく。

問 集団免疫が有望視されているワクチン接種は膨大な仕事となるのは明白であり、体制構築は検討に入っているのか。

健康づくり支援課長 国からの情報収集をして具体的には医師等の人的確保、個別・集団接種を視野に入れた会場の確保、医療機関の調整、医師会との連携を密にして検討を重ねていく。

問 ワクチン接種時、防護服の準備もされるのか。

健康づくり支援課長 感染防止のため万全の体制を整えていく。

問 副反応が出た場合の相談窓口はどこになるのか。

健康づくり支援課長 副反応が出た人については国で対応すると聞いている。

問 ワクチン接種はマイナンバーとひも付きとも聞いているが、マイナンバーを持たなくても接種できるのか。

健康づくり支援課長 マイナンバーはなくても接種できる。

問 接種は強制ではないが、接種率の向上を期待して接種した人、しない人の公表はあるのか。

健康づくり支援課長 個人情報であり、それはない。二回接種しないと効

果がないことから完全実施を進めていく。

問 接種しない人への再度の要請や連絡をされるのか。

健康づくり支援課長 受診勧奨は常に行い、100%を目指したい。

問 行政罰の執行やワクチン接種だけでも自治体が経験したことのない初めての業務が始まろうとしており、日常業務の兼務で遂行できるか疑問であり、臨時・応急的にも仮称「新型コロナ対策課」を立ち上げ、可能であれば区長・民生委員の方々も可能な仕事の応援を頂き、本町一丸となった形で取り組む考えはないか。

総務課長 現在、健康づくり支援課において体制の整備を進めている。新たな課の設置予定はない。ただ、ワクチン接種は特に緊急性があり、適正な人員配置をして全庁体制で取り組んでいく。

問 多くの問題が山積み、手探りの状態の中、町の保健センターの親身ある電話対応に感謝されている住民もおられた。対策のすべてが、まさに激動と混迷と模索の時、県の措置も実効性が担保されないと意味がない。今、町長のリーダーシップが求められている。町長には国と県との連携を密にして、住民に安心感を与えて頂きたい。



コロナ対策ワクチン関連予算可決！

1月27日に1月会議が行われ、契約1件、補正予算1件が審議採択された。

1月議会で決まったこと

議案 号数	議 案 概 要	質疑・討論 の有無	採決 結果
議案 73	令和2年度豪雨災害による農地等災害復旧工事 工事請負契約の締結	有	全会一致で 可決
議案 74	令和2年度御船町一般会計補正 予算（第12号）について	有	全会一致で 可決
	補正額 歳入歳出 614,297千円 補正後予算総額 歳入歳出 14,384,127千円		

議案第74号 令和2年度御船町一般会計補正予算(第12号)

ふるさと納税の米

中城議員 ふるさと納税が増えているが米の確保はできているのか。

企画財政課長 ヒノヒカリ12キロ、無洗米12キロは予定数量に達した。現在はヒノヒカリと森のくまさん玄米10キロ、白米8キロの米を返礼品としている。

中城議員 諸費用を引いた実質の自主財源はどうなるか。

企画財政課長 ふるさと納税の給付金、24億円に対して、約40%の9億6,800万円になる見込みだ。



ふるさと納税で人気のヒノヒカリ・森のくまさん

児童手当の増額要因

田上忍議員 児童手当が増額されているが要因は何か。

こども未来課長 過去の未提出者が申請したことで転入者や出生が増加したのが要因だ。

田上忍議員 ひとり親家庭の医療費が増額した要因は何か。

こども未来課長 受診者が増えたことが一番の要因だ。当初予算を組むときに少なめに見積もっていた。

新型コロナのワクチン接種

田上忍議員 住民全員への接種計画とあるが強制になるのか。

健康づくり支援課長 本人の意思確認を行って2回接種を進めていく。

福永議員 ワクチン接種に伴う予算はすべて国負担なのか。

企画財政課長 ワクチン接種は国の全額負担だ。接種をスムーズに進めるために一般財源を約120万円加算している。

福本議員 ワクチン接種における町の体制と、集団接種の会場はどう計画しているのか。

健康づくり支援課長 ワクチンの開発や生産に不確定な要素があるので接種開始の時期を見定めているところだ。接種は医療機関と協力体制を整えているところだ。100人以上の接種ができる会場がないので今後、医療機関と協力しながら見つけていく。

福本議員 今回の補正予算でワクチン接種にかかる費用をすべて賄えるのか。

企画財政課長 ワクチン接種体制づくりと医療従事者への接種の予算のみだ。3月議会で65歳以上の高齢者以降の接種予算を計上していく。

不法投棄委託料

田上忍議員 不法投棄の委託料があるが詳しい説明を。

農業振興課長 熊本県産業資源循環協会（宇城支部）による不法投棄ゴミ撤去事業である。5カ所で家電製品などの不法投棄が確認されている。冷蔵庫2台、洗濯機2台、混合廃棄物、瓦くず、タイヤ、廃プラスチック類がある。場所は、

北田代トンネル先右側の道路沿いで2カ所、主に洗濯機が不法投棄されている。次に川内田橋先の右側道路沿いに冷蔵庫2台が不法投棄されている。マミコウロードから下りて下鶴地区入口付近の山林でパソコン、プリンターが各1台ずつ不法投棄されている。滝尾橋から上の方の右側道下にスレート、タイヤなどが不法投棄されている。

田上忍議員 持ち主の調査はしたのか。

農業振興課長 確認したが特

定できなかった。

田上忍議員 不法投棄の新たな対策等は考えているか。

環境保全課長 啓発活動、パトロール等を実施して看板等の設置や広報等を行っている。



山林に放置されたゴミ

あおぞら
会議

町の観光資源、どう活かす

詳細はこちらから↓



議会運営委員会委員長 **清水 聖**

12月21日に役場第二分庁舎にて、御船町観光協会とのあおぞら会議が開催され、議会からは議長、議会運営委員の6名で参加した。

コストコのオープン後、どう町の賑わいにつなげていくか、今ある町の観光資源（恐竜博物館・緑の村・街なかギャラリー・ふれあい公園等）をどう活かしていくかなど町の観光のこれからについて議論を交わした。吉無田高原・緑の村に関しては老朽化した宿泊施設や、新設されたオートキャンプ場の課題について、町の公共交通網に関しては各観光地を通していく案など豊富なアイデアが観光協会から提示された。

観光協会は「今後開業するコストコを町のPRの場とし

て活用していくことはもちろん、今ある恐竜博物館や緑の村と協力しながら、さらによりよい施設にし、PRしていくしかない。御船町には歴史的な観光資源もたくさんあるため、地域住民など各種団体とも協力していく必要がある。議会にも観光協会と同様の認識で執行部に対応を求めてもらいたい。」などの意見があった。

議会からは「私たち議員は、民と公がきちんと連携が取れているかを見ていかないといけない立場。あおぞら会議の場は議員にとって情報を仕入れる場であり、このような機

会でいろんなアイデアや情報を得て我々は勉強していかないといけない。ここで得た要望を行政に伝えていきたい。」と述べた。

今後町がより発展するよう、今回のあおぞら会議で交わされた議論を活かしていきたい。



▲議論を交わす議員と観光協会

地方議会に求められているもの

講師 熊本大学 法学部教授 伊藤洋典先生

12月22日、御船町議会審議会室において、熊本大学法学部、公共社会政策論教授の伊藤洋典先生を講師に招き、議員独自研修を行った。

まず、伊藤先生から、議員のなり手不足、投票率の低下等、地方議会が置かれている各課題について、実例を挙げた分析結果を教示いただくと共に、そもそも地方議会とはどのように成立し、どのような役割を担っているのか等、地方議会の基本についてご講義いただいた。

地方議会のルーツは、明治時代にさかのぼる。

まだ、地方の首長が選挙で

えられず、中央政府からの官選であったころから、地域社会では、寄合・総代会・町村会という形で「衆庶公同の利益」、今でいえば、「町民全体の福祉の向上」に資するための、話し合いによる地域の意思決定の機関としてあったものを前身として成立した。地域社会には、必要不可欠な組織である。

その必要性と役割は、今現在も何ら変わらないが、議会の必要性や役割に対する住民の意識、議員自身の意識、また、住民や議員の地方自治に対する意識は多様であり、時代と共に変化している。

しかし議会は、現に「公的な意思形成の装置」であるということ、すなわち、「町としての意思形成し決定する機能」という、地方自治体において、議会以外は持たない機能を持っている。

議会に課せられた役割を果たすためには、議会を住民に開き、広く住民との関係性を再構築していくことが求められている。

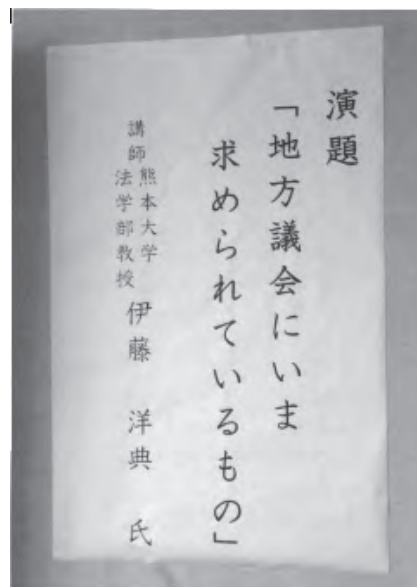
今回の議会独自研修会は、まさに、「故きを温ねて新しきを知る」研修会でもあり、議員としての基本に立ち返らせていただく事ができた大変貴重な機会となった。



▲講師の伊藤洋典先生



▲講師の話に聞きいる議員たち



▲研修会のテーマ

かがやく



“温かいみふね”大好き

御船に縁があり結婚して四十年になります。

歯科技工士の主人は、御船で開業し私は助手をしていました。六十歳を過ぎたある日、夫が突然「俺、定年するから」と仕事廃業宣言をしました。

夫が仕事をしないなら私が働こう！色々考えましたが、『食べ物が好き』『料理が好き』『子どもの為に始めたジャム作りも楽しい』それならば！と私が五十六歳の時にログハウス・薪ストーブショッポの本田さんをお願いし、空いていたミニログハウスをお借りして、小さな小さなジャム屋さん『カフェ・コンフィチュール』の開店です。

「小さな町でジャム屋さんして



下辺田見
藤崎 清美さん

ます。」と言っても誰も来てくれな
いだろうと思い、限定ですが『ラン
チ』も始めました。『ランチ』で
お店を知っていただき、ジャム屋
さんとして今まで続けることがで
きました。最近は、ふるさと納税
の返礼品としても参加しています。
結婚してから御船町に来ました
が、町の中を川が流れ、豊かな自
然に囲まれ、人々が熱く温かいみ
ふね町が大好きです。コロナ禍は
心配ですが、薪ストーブがチロチ
ロと暖かく、季節のランチ・熊本
県産の果物を使ったジャム達が並
ぶ店、カフェ・コンフィチュール
にぜひご来店ください。そして、
オープンデッキでゆったり癒しの
時間をお過ごしください。

議会の予定3月

- 4日(木) 議会改革特別委員会
- 5日(金) 全員協議会
- 11日(木) 議会
- 18日(木)
- 25日(木) 議会運営委員会(予定)



▲御船地区の梅



議会HPはコチラ

編集後記

暦の上では春になりましたが、十六日には雪が降るなど、まだまだ寒い日が続いています。先日病院の院長と話す機会がありました。「今年は、インフルエンザはどうですか。」とお聞きましたが「今はまだゼロですよ。」と話されました。

昨年は、役場の職員が二十人くらい休んでいたことを思い出しました。やはりコロナ禍で、手洗い・うがい・マスク着用が、インフルエンザ予防にも効果が出ていると思いました。コロナのワクチンも、ようやく接種できるようになってきま

しが、ただ町民全員にはまだまだ時間がかりそうです。
一番の予防は、一人一人が三密を避け、マスク着用、帰宅時は消毒・手洗い・うがいを実行することだと思います。

森田優二

議会広報編集特別委員会

発行責任者	池田 浩二
委員長	井藤はづき
副委員長	田上 忍
委員	藤川 博和
委員	福永 啓
委員	森田 優二
委員	田上 英司